

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（10月定例会）
開催日時	令和7年10月24日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	東伏見市民集会所および下野谷遺跡
出席者	委員：川原議長、松本副議長、斉藤委員、伊尻委員、岩穴口委員、大宮委員、河野委員、高橋委員、田口委員、堀田委員 講師：森主文化財係長、沼上文化財保護専門員 事務局：鬼頭地域学習推進係長、齋藤主任、野田主事、石島主事
議題	（1）令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修について （2）その他
配付資料	
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

- 議題（1） 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修について
 <下野谷遺跡の概要説明および遺跡見学について>
 ●地域学習推進課文化財係職員より、下野谷遺跡の概要および遺跡を通じた地域のつながりづくりの概要について説明。続いて、下野谷遺跡現地へ移動し、遺跡の成り立ちなどについて説明。
- 議長：下野谷遺跡や地域のつながりづくりの取組に関する説明に対し何か質問はあるか。
- 委員：「したのやムラ ムラびと」や「したのやの語り部」などの活動を主導しているのは誰なのか。
- 講師：主に市が主導している。
- 委員：下野谷遺跡の周知について、市の戦略を教えて欲しい。
- 講師：ホームページやチラシによる広報活動を第一としているが、他にも遺跡現地におけるイベントにも注力している。
- 委員：「地域のつながりづくり」を市民が自分事としてとらえるために、市としてどのようにアプローチをしてきたのか。
- 講師：「したのやムラ ムラびと」の制度や、掲示板を用いて、遺跡保護に関するボランティアの募集などに取り組んできた。

＜ファシリテーター研修について＞

●議長より、第4ブロック研修会の第2部グループディスカッションにおける、ファシリテーターの心得、および進行方法についての講義。

○議長：初めに、意見を出しやすい雰囲気を作るため、事前に参加者は「呼ばれたい名前」で名札を作り、ディスカッションの冒頭では各自の呼ばれたい名前で自己紹介をすると良いと考える。このことについて何か意見あるか。

○委員：あだ名やニックネームを嫌がる人もいるのではないか。

○議長：そういった場合は、名字にさん付けとしても良いと伝えて欲しい。

○議長：自己紹介の後は、各自が携わる取組の紹介をするが、自分が関わっていない取組の紹介でも問題ないことを伝えて欲しい。また、もし議論が止まってしまった場合に備え、各市の特徴的なものなど、「お守り」として予め調べておいて欲しい。このことについて何か意見あるか。

○委員：限られた時間の中で議論をまとめるため、まずはファシリテーターの進め方をまとめて欲しい。

○議長：進め方の流れをまとめると以下のようなになる。

- ①自己紹介
- ②各自の取組事例の紹介、または講演の感想
- ③地域のつながりづくりのポイント共有
- ④発表

○議長：「②各自の取組事例の紹介、または講演の感想」において、各取組の共通点をメモしておく、「③地域のつながりづくりのポイント共有」の議論がスムーズになるのではと考える。

○委員：ファシリテーターは司会に徹するだけで良いのか。

○議長：取組紹介にあたっては、ファシリテーターが口火を切って意見や講演の感想を述べることで意見を出しやすい雰囲気を作って欲しい。

○委員：議論が発散した場合、ファシリテーターが議論のテーマを決めてよいのか。

○委員：ファシリテーターは議論を誘導してはいけないと考える。

○委員：ディスカッションの時間が短いため、最後の発表は、ファシリテーターが議論のまとめを発表すればよいと思う。

○委員：ファシリテーターは司会とメモ取りに分かれ、メモに沿って発表すればよいのではないか。

○委員：発表者を全て西東京市の社会教育委員とするのではなく、各市の理事者などに任せの方が多様な意見が出るのではないか。

○委員：司会者と発表者が別だと、内容がぶれてしまわないか。

○委員：発表については、「③地域のつながりづくりのポイント共有」において、グループ内で結論のすり合わせをすればよいと考える。

○議長：これまで挙げた意見を踏まえ、当日の流れと気を付けたいポイントをまとめると以下のようになると思うがよろしいか。

①自己紹介

→自己紹介はシンプルにまとめる。

②各自の取組事例の紹介、または講演の感想

→ファシリテーターが口火を切る。

ファシリテーターは司会とメモ取りに分かれ、③の議論に向けて、各自の取組の共通点（キーワード）をメモしておく。

③地域のつながりづくりのポイント共有

→まず、②のメモに沿ってファシリテーターが取組の共通点にコメントをする。

④の発表に向けてグループ内で結論のすり合わせを行う。

④発表

→各市の理事者が発表を行う。

一同異議なし

○議長：その他、ブロック研修会について何か意見はあるか。

○委員：各参加市には、各自で紹介したい取組事例について、事前に考えておくように伝えておいた方が当日の議論がスムーズになると考える。

○委員：「縄文ノート」には各市の遺跡が載っているため、この冊子が「お守り」になると考える。

議題（２） その他

●事務局より事務連絡を実施。

次回会議

日時 令和7年11月28日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎5階会議室